



平成27年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月8日

上場取引所 東

上場会社名 マニー株式会社

コード番号 7730 URL <http://www.mani.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役社長

(氏名) 高井 壽秀

問合せ先責任者 (役職名) 執行役

(氏名) 高橋 一夫

TEL 028-667-1811

四半期報告書提出予定日 平成27年7月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年8月期第3四半期の連結業績(平成26年9月1日～平成27年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第3四半期	9,477	12.4	3,231	8.8	3,356	8.2	2,187	11.5
26年8月期第3四半期	8,428	27.0	2,969	39.9	3,101	30.5	1,962	30.1

(注)包括利益 27年8月期第3四半期 3,671百万円 (47.5%) 26年8月期第3四半期 2,488百万円 (0.7%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年8月期第3四半期	198.25		—	
26年8月期第3四半期	177.79		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		%
27年8月期第3四半期	29,512		26,109			88.5
26年8月期	26,285		23,370			88.9

(参考)自己資本 27年8月期第3四半期 26,109百万円 26年8月期 23,370百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
26年8月期	—	33.00	—	39.00	72.00
27年8月期	—	39.00	—		
27年8月期(予想)				39.00	78.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年8月期の連結業績予想(平成26年9月1日～平成27年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	13,597	18.9	4,322	10.8	4,285	6.1	2,754	5.7	249.61

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年8月期3Q	11,879,000 株	26年8月期	11,879,000 株
② 期末自己株式数	27年8月期3Q	842,544 株	26年8月期	842,544 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年8月期3Q	11,036,456 株	26年8月期3Q	11,036,462 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における医療機器業界は、先進国では医療費抑制政策の厳しさが続いているものの先進医療の導入が進み、新興国では人口の増加及び経済発展に伴う医療インフラの整備が進んでいるため、全体としては引き続き市場の拡大を見込んでおります。一方、当社グループを取り巻く環境は、円安の定着化及び日本経済の穏やかな回復基調の持続といった追い風はあるものの、新興国及び欧州各国の経済変調、グローバルレベルでの競争激化、病院のコスト削減を求めたグループ購買化等の影響を受け、依然として厳しい状況で推移しております。

このような環境下、当社グループにおきましては、為替の円安定化・進行を受け、需要の拡大が見込まれる新興国市場において、中国の販売拠点 馬尼(北京)貿易有限公司(当社 100%出資)及びベトナムの販売拠点MANI MEDICAL HANOI CO., LTD. (当社 100%出資)を中心に現地マーケティングの強化を図り、ユーザーニーズの把握及び販売網の整備に努めた結果、アジアをはじめとする新興国市場への売上が好調に推移しました。さらに、欧州地域でのプレゼンスの向上ならびに先進国市場での新製品投入を加速化するため、ドイツ歯科修復材のリーディングカンパニーであるSchütz Dental GmbH 及び GDF Gesellschaft für dentale Forschung und Innovationen GmbHの全株式を取得し、子会社化しました。

一方、生産面について、海外工場におきましては、ベトナムの生産拠点MANI HANOI CO., LTD. (当社 100%出資)は、品質向上と原価低減を実現するため、生産効率の改善及び顧客への直接出荷体制の確立に努めてまいりました。また、ミャンマーの生産拠点MANI YANGON LTD. (MANI HANOI CO., LTD. 100%出資)は、ベトナム生産拠点への一極集中を回避するため、生産能力増強及びISO13485の認証取得の準備を進めてまいりました。さらに、ラオスの生産拠点MANI VIENTIANE SOLE. CO., LTD. (MANI HANOI CO., LTD. 100%出資)は、社員の定着化・品質の安定化に努めてまいりました。国内工場におきましては、新製品の量産準備と並行して、海外生産拠点との連携強化に努めてまいりました。

開発面については、引き続き「世界一の品質」を実現・維持するための生産技術開発・既存製品改良研究を行うとともに、先進国での売上拡大を目指して、継続的に新製品開発を進め、当第3四半期連結累計期間中の新製品として「血管ナイフ フルディスポタイプ」「セーフティナイフ」「トロカールキット」「0°ナイフ」「デブスナイフ」(サージカル関連製品)「ステンレスパーハード・ミドルネック」「エンジンNiTiファイル」「CAカーバイドバー」(デンタル関連製品)を発売いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 9,477百万円(前年同期比12.4%増)、営業利益は 3,231百万円(同8.8%増)、経常利益は 3,356百万円(同8.2%増)、四半期純利益は2,187百万円(同11.5%増)となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

(サージカル関連製品)

円安効果に加え、品質評価の高い眼科ナイフ、アイド針の輸出が好調に推移したことから、売上高は3,283百万円(前年同期比 12.3%増)となりました。また、売上高は増加したものの、利益率の低い製品の売上割合が増加したこと等から、セグメント利益(営業利益)は964百万円(同3.8%増)となりました。

(アイレス針関連製品)

前連結会計年度は好調に推移した海外大口顧客からの受注が低調であったものの、中国等その他顧客への販売が好調に推移したこと等から、売上高は2,954百万円(前年同期比6.1%増)となりました。また、売上高は増加したものの、円安による海外生産コストが増加したこと等から、セグメント利益(営業利益)は、1,387百万円(同0.9%減)となりました。

(デンタル関連製品)

円安効果、新興国市場におけるニセブランド品対策の浸透及び中国での販売店戦略の強化により、リーマ・ファイル及びダイヤモンドの売上が中国をはじめ新興国で好調に推移したことから、売上高は3,238百万円(前年同期比19.1%増)となりました。また、売上高が増加したことから、セグメント利益(営業利益)は879百万円(同37.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3,226百万円増加し、29,512百万円となりました。これは主に、ドイツ子会社2社の買収に伴い、現金及び預金が減少した一方、商品及び製品等の棚卸資産、機械装置及び運搬具が増加したこと、ならびに新たにのれんが発生したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ487百万円増加し、3,403百万円となりました。これは主に、未払法人税等が減少した一方、未払金、未払費用、繰延税金負債が増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,738百万円増加し、26,109百万円となりました。これは主に、利益剰余金、為替換算調整勘定が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、「(1) 経営成績に関する説明」のとおりであります。通期の連結業績予想につきましては、平成27年4月8日の「平成27年8月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社には該当しておりませんが、当第3四半期連結会計期間より、Schütz Dental GmbH 及びGDF Gesellschaft für dentale Forschung und Innovationen GmbHの全株式を取得し子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の前平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が91,572千円増加し、利益剰余金が59,178千円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,917,723	4,643,192
受取手形及び売掛金	2,037,859	2,722,481
有価証券	1,437,984	1,438,400
商品及び製品	956,105	1,648,481
仕掛品	1,690,807	1,959,082
原材料及び貯蔵品	1,001,501	1,419,023
繰延税金資産	233,229	171,287
その他	305,786	422,501
貸倒引当金	△3,127	△27,788
流動資産合計	14,577,871	14,396,661
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,160,766	3,329,660
機械装置及び運搬具(純額)	2,878,731	3,591,958
土地	1,146,656	1,146,656
その他(純額)	262,678	458,212
有形固定資産合計	7,448,832	8,526,487
無形固定資産		
のれん	—	1,720,206
ソフトウェア	8,483	29,315
その他	59,933	72,385
無形固定資産合計	68,417	1,821,907
投資その他の資産		
投資有価証券	3,919,488	4,497,394
繰延税金資産	5,885	4,390
保険積立金	257,143	246,316
その他	8,315	21,608
貸倒引当金	△28	△2,684
投資その他の資産合計	4,190,804	4,767,024
固定資産合計	11,708,054	15,115,419
資産合計	26,285,925	29,512,080

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	114,290	313,237
未払金	579,351	866,876
未払法人税等	767,791	398,474
賞与引当金	387,749	265,520
その他	378,286	656,519
流動負債合計	2,227,470	2,500,628
固定負債		
繰延税金負債	424,315	555,887
役員退職慰労引当金	79,620	81,220
退職給付に係る負債	164,919	246,400
その他	18,900	18,900
固定負債合計	687,755	902,408
負債合計	2,915,225	3,403,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	988,731	988,731
資本剰余金	1,036,311	1,036,311
利益剰余金	22,696,468	23,951,728
自己株式	△2,583,251	△2,583,251
株主資本合計	22,138,260	23,393,520
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	942,131	1,371,447
為替換算調整勘定	297,002	1,348,210
退職給付に係る調整累計額	△6,695	△4,134
その他の包括利益累計額合計	1,232,439	2,715,522
純資産合計	23,370,699	26,109,043
負債純資産合計	26,285,925	29,512,080

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)
売上高	8,428,942	9,477,431
売上原価	3,078,171	3,623,285
売上総利益	5,350,770	5,854,145
販売費及び一般管理費	2,381,138	2,622,848
営業利益	2,969,632	3,231,297
営業外収益		
受取利息	11,543	13,046
受取配当金	17,521	29,622
投資事業組合運用益	25,270	23,223
為替差益	63,890	41,901
その他	14,457	18,624
営業外収益合計	132,682	126,418
営業外費用		
支払利息	110	110
その他	224	1,583
営業外費用合計	335	1,693
経常利益	3,101,979	3,356,022
特別利益		
保険解約返戻金	6,404	383
固定資産売却益	—	1,473
特別利益合計	6,404	1,856
特別損失		
固定資産除却損	1,185	1,762
役員退職慰労金	103,762	—
特別損失合計	104,948	1,762
税金等調整前四半期純利益	3,003,435	3,356,115
法人税、住民税及び事業税	1,000,247	1,096,888
法人税等調整額	41,042	71,248
法人税等合計	1,041,289	1,168,136
少数株主損益調整前四半期純利益	1,962,146	2,187,979
四半期純利益	1,962,146	2,187,979

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,962,146	2,187,979
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	309,647	429,315
為替換算調整勘定	216,980	1,051,207
退職給付に係る調整額	—	2,560
その他の包括利益合計	526,627	1,483,083
四半期包括利益	2,488,774	3,671,062
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,488,774	3,671,062

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年9月1日至平成26年5月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	2,923,595	2,785,198	2,720,148	8,428,942	—	8,428,942
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,922	72,540	—	74,462	△74,462	—
計	2,925,518	2,857,738	2,720,148	8,503,405	△74,462	8,428,942
セグメント利益	928,556	1,399,926	641,149	2,969,632	—	2,969,632

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年9月1日至平成27年5月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	3,283,668	2,954,974	3,238,789	9,477,431	—	9,477,431
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,062	131,024	—	133,087	△133,087	—
計	3,285,731	3,085,999	3,238,789	9,610,519	△133,087	9,477,431
セグメント利益	964,257	1,387,152	879,888	3,231,297	—	3,231,297

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

株式分割

当社は、平成27年7月8日開催の取締役会において、次のように株式分割を決議いたしました。

(1) 株式分割の目的

投資家にとってより投資しやすい環境を整えるため、株式分割により投資単位を引下げ、結果として、株式の流動性向上及び投資家層の拡大を目的とするものであります。

(2) 株式分割の概要

①分割の方法

平成27年8月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式1株につき3株の割合をもって分割いたします。

②分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式数	11,879,000株
今回の分割により増加する株式数	23,758,000株
株式分割後の発行済株式総数	35,637,000株
株式分割後の発行可能株式総数	118,800,000株

③分割の日程

基準日公告日	平成27年8月10日(月)
基準日	平成27年8月31日(月)
効力発生日	平成27年9月1日(火)

④その他

イ. 資本金の金額の変更

今回の株式分割に際して、当社の資本金の額に変更はありません。

ロ. 配当について

今回の株式分割は、平成27年9月1日を効力発生日としておりますので平成27年8月期の期末配当金につきましては、株式分割前の株式数を基準に実施いたします。

なお、平成27年8月期の期末配当予想につきましては、1株につき39円を予定しております。

(3) 1株当たり情報に及ぼす影響額

株式の分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額	59.26円	66.08円

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。